

□ 要請番号 (JL11222B07)

募集終了

3

3人までの
指導と協力を

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マーシャル	H108 臨床検査技師		個別	新規	2年	・2023/2・2023/3・ 2023/4・2024/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健福祉省

2) 配属機関名 (日本語)

マジュロ病院

3) 任地 (マジュロ環礁デラップ地区) JICA事務所の所在地 (マジュロ デラップ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.7 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、国内最大の総合病院である。院内に保健福祉省を併設しており、パブリックヘルスクリニック、プライマリーヘルスクリニック、ヘルスポモーション部署などが設置されている。外来患者は1日約75名、入院患者は約60名程度。病床約100床、医師約20名。看護師約90名、3交代制で24時間365日勤務している。内科・整形外科・眼科・産婦人科・小児科・歯科、臨床検査室を備えており、室長と2名の研究者が同僚となる。予算規模は、年間あたり3300万USD(2022)で、日本や台湾、米国、オーストラリアからもCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)に関する様々な医療器材などが供与されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

臨床検査室では、診断、治療に必要な血液学、生化学、免疫学、微生物学に関する各種検査及び輸血に必要な支援を24時間体制で実施している。また、海外渡航者、漁業関係者の入国に対するPCR検査を実施しているが、渡航者等の増加に伴い、日々の検査数も急激に増加しており、PCR検査の適正な実施管理や検査室スタッフへの基礎トレーニングが必要となっている。また、検査室内に分子生物学診断ユニット(Molecular Diagnostic Laboratory Unit)が立ち上がったが、その運用に必要な知識、経験を積んだ技師等が不足しており、スタッフへの教育指導が急務となっている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

以下の活動のうち可能なものから実施する。

- PCR検査機器の操作、保守管理について指導する(機器の評価、査定、キャリブレーション含む)。
- 検査及び検査機器に関するスタッフトレーニングの実施。
- 標準作業手順書(Standard Operating Procedures:SOP)の評価、見直し。
- 分子生物学診断ユニットの管理、運営に関する助言(バイオセーフティ、バイオセキュリティマニュアルの評価整備等含む)。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

自動遺伝子解析装置: GeneXpert DX System,16-Module (Cepheid SAS)、LightCycler 480 System II (Roche Diagnostics)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
検査室長(Laboratory Manager、男性、50代)

研究者(Medical Lab Scientist、女性、30代)2名

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：(臨床検査技師)

[学歴]：(大卒) 保健医療 備考：業務内容に大卒の知識が必要

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 5年以上 備考：実践的な指導力が必要なため

[参考情報]：

- ・分子生物学に関する知識や経験が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(25~30°C位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

訓練言語と現地語学訓練言語が異なる。現地語については、現地語学訓練期間に語学研修を行う。